

〈第24回環境システム計測制御学会（EICA）研究発表会〉

来賓ご挨拶

横浜市環境創造局 局長 荻島尚之

第24回環境システム計測制御学会研究発表会を横浜の地で開催されましたことを心からお慶び申し上げ、開催を歓迎致します。

EICAの研究発表は、1980年第1回のワークショップから始まり、下水・排水処理などの制御、公共水域の環境状況の把握・改善への計測制御、コンピューター技術などその時代に合ったテーマについて先進的な発表を行ってこられたと聞いております。

第24回目となります本年の研究発表会の内容は、昨年発生した3.11の東日本大震災に関連しまして「大震災に備える水インフラの整備」をテーマとされております。

基調講演やパネルディスカッションとともに上水、下水、廃棄物分野から維持管理、エネルギーまで環境システムの幅広い分野における計測制御管理に関する発表が予定されていると聞いております。

横浜市内での被災は少なかったのですが、震災後横浜市としては、仙台の方にお手伝いに行ったりいろいろ取り組んでおります。今年度はつい先週横浜市の被災想定について取りまとめて発表したところでございます。我々も本年度下水道BCPを策定するために一生懸命作業をしております。このような時期でございます横浜で、研究発表会を開催して頂き、非常に有意義な事だと考えております。

横浜市の環境創造局は、下水道、緑政、環境保全の環境行政3分野を所管しているところですが、今回下水道の中でも主要課題になっていてEICAにも関連



する取組みを「下水道施設における監視制御システムの現状と今後の方向性」というテーマで本市職員が発表させて頂けることになっております。これも大変励みになると思っております。

EICAにおかれましては、より良い環境を造るため上下水道分野から廃棄物分野における省エネルギーや技術開発、資源エネルギーの監視技術の開発等に取り組んでおられます、広範囲で非常に複雑な今日の環境問題の解決策として皆様の取組みは、私達環境に携わる者として非常に大きな参考になると考えております。

引き続き問題提起ですとか解決に向けた取組みを皆様の叡智を合せて是非お願いしたいと思っております。

今後ますますEICAの発展を祈念致しまして、簡単でございますが私のご挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。